

令和6年度第3回 流山市環境審議会 議事要旨

日 時： 令和6年9月25日（水）14時00分～15時50分

場 所： 流山市役所第1庁舎3階 庁議室

出席委員：10名

新保國弘委員（会長）、朽津和幸委員、佐藤秀樹委員、川村香純委員、大貫貴志委員、井上菊夫委員、和田登志子委員、三堀裕雄委員、今井泰彦委員、石田裕佳委員

事務局：

環境部：伊原部長

環境政策課：高松課長、枝松課長補佐兼環境保全係長、安達課長補佐、花澤環境政策係長
樋口副主査、座間主任主事

クリーンセンター：千葉係長

傍聴者：有（2名）

議 題：環境基本計画について

新保会長	本日の出席委員は10名となっている。（うち3名はオンラインでの参加。）流山市附属機関に関する条例により、定足数に達しているため、会議が成立していることを御報告申し上げます。 議題は、「環境基本計画について」であり、事務局から説明をお願いします。
事務局	8月1日の審議会にて次期環境基本計画の素案を示したが、その際いただいた御質疑・御意見を踏まえて修正等を行ったので、最終案として説明させていただく。 資料1は、8月1日の審議会にていただいた御意見等を分野別にまとめたものである。なお、説明については、8月1日の審議会にて使用した素案と本日の素案を見比べながらページごとに進める。 はじめに表紙をご覧いただきたい。表紙の案として、「市の花や木」、「環境政策課に係る事業」等、御意見をいただいたが、表紙は別紙素案の通りとなった。こちらは、市内の美しい自然等を守るためにも、環境問題に取り組もうというメッセージをこめている。そのため、オオタカ、植樹、太陽光発電設備、市内の四季を表す写真を掲載した。

事務局	1 ページをお開きいただきたい。ページ番号については、見開きにした際にページ数がそれぞれ外側につくように修正した。 このほか「1 ページ等、掲載のイラストは、市職員にて描かれたものか、フリーサイト等から DL したものか。フリーサイトから DL した場合は注意すること」との御意見をいただいたが、1 ページ「(1) 計画の目的」記載のイラストは、市役所購入の CD から抜粋したイラストのため、使用について著作権関係の問題はない。 また、全体に関することになるが、文章中の年号の表記を、和暦と西暦で併記して記載した。 2 ページの「(2) 計画の位置づけ」の、計画図の図形の大きさ等についてもご意見をいただき調整した。 4 ページのページ中段「3. 計画の推進と進捗管理」における、環境マネジメントシステムと P D C A サイクルについて、「計画の進捗管理の記載、流山市独自の環境マネジメントシステムであることの記載をした方が良いのではないか」、「P D C A サイクルの図があったほうが良いのではないか」という御意見をいただき、4 ページ「3. 計画の推進と進捗管理」に、※1 として流山市環境マネジメントシステムについての説明を追記し、※2 で P D C A サイクルと図を追記した。 7 ページをお開きいただきたい。「第3章「将来の環境像と目標」「1 望ましい環境像」の写真についても今回素案にて変更した。今回掲載した写真は、「流山市が目指す望ましい環境像」にも記載している「自然と都市の調和」を表していると考え、流山おおたかの森駅南口広場の写真を掲載した。なお、7 ページ以降に掲載している写真についても、「写真の注釈はあった方が良いのではないか」という御意見をいただき、写真の下に注釈として、事業内容を追記した。 10 ページをお開きいただきたい。この10 ページ以降の各基本目標の「目標指標の進捗」について、「将来目標値で R 10 年度を基準としており、異なる場合は、表の下※で年度の注意書きを記載しているが、目標値と目標年をそれぞれのセル内に併記したらいかがか」という御意見を踏まえ、「R10」と記載していた将来目標年度を、今回素案で「将来目標（目標年度）」と改め、それぞれのセルに目標年度を記載した。また「目標指標の進捗」の表の大きさ等を調整した。 13 ページをお開きいただきたい。上段の基本目標2「市の取組み」
-----	--

事務局	の「都市と交通の脱炭素化」で「実用性の高い自転車ネットワークを形成します。」とあるが、もう少しわかりやすい表現の方が良いのではないか。」という御意見をいただき、「通勤や通学、観光など多様な目的での実用性の高い自転車ネットワークを形成します。」という文言に修正した。 同じく１３ページ「目標指標の進捗」の表について、表の幅が横に大きくなっていたことを受け、「記載年度を平成２７年度からの記載にしなくても良いのではないか」という御意見もあったものの、第２次流山市環境基本計画からの連続性を考慮し、平成２７年度からの目標値及び実績値は残し、表のレイアウトを整えた。また、「目標指標の進捗」の指標「市役所の温室効果ガス排出量（Ｈ２５（２０１３）年度比）」の目標値について、４６から５４へ修正した。この数字は、削減する分の目標として示されている数字だったため、１００から４６を除いた５４％に年度比の目標値を改めた。 １５ページの「目標指標の進捗」の指標「最終処分量」について、「Ｈ２７年度が９，４７４ｔで、Ｒ２年度が１，５４８ｔと大きく差異があるが、注意書きが必要かと思うのでご検討いただきたい。」という御意見をいただいたので、該当箇所及び表の下部に※を追加し、注意書きを追記した。 １７ページの「目標指標の進捗」について、「身近な生活環境に関しての不満に感じている市民の割合」について、３５ページの説明に記載していた「あなたは地球温暖化のためにどのようなことに取り組んでいるか」についての算出結果をもとにしているようだが、これは本当にそこにつながるのかという御意見をいただいた。これについては、３５ページの、「各基本目標の指標の算出式等」の記載が誤っていたため、これを修正し、「まちづくり達成度アンケート「あなたは、生活環境（悪臭・騒音・振動・不法投棄）について、どのように感じていますか。」の「不満がある」＋「どちらかといえば不満」の割合」と記載した。 １７ページにお戻りいただきたい。「目標指標の進捗」の指標、「身近な生活環境に関しての不満に感じている市民の割合」の数字で前回審議会時に掲載していた数字に誤りがあったため修正した。 １８ページの「基本目標５ オール流山で環境保全と改善に取り組むまち」にて、ごみに対する意識づけで、事業者への啓発や市民への啓
-----	--

事務局	発の部分が今回の環境基本計画で薄いと感じた。」という御意見をいただいたが、これについては「市の取り組み」欄の一番下に、「市民を対象に、講演会、施設見学会、児童・生徒への環境教育、ポスターコンクール、ガレージセールなどを実施し、環境教育、普及啓発、意識改革を図ります。」という文言を追記した。 次に１９ページの写真については、「オール流山」という観点で、「トラックの森づくり」の植樹の写真、市野谷の森での散策イベントの写真を掲載した。 ２０ページ「基本目標２に関してのお願い」にて、高効率機器の購入による削減効果などが具体的な数字とともに示されているが、数値の出典を示しておいた方がよい」という御意見をいただき、今回素案で、出典を追記したとともに、記載している数値についても今回最新のものへ修正した。 また２１ページ「基本目標３に関してのお願い」のグラフの大きさ等を調整した。 ２２ページ「基本目標５に関してのお願い」の右下に掲載していたイラストについては削除し、「まちなか森づくりプロジェクト」と「みどりのカーテン」の事業説明を追加した。 ２８ページをお開きいただきたい。「生物多様性ながれやま戦略第二期 重点地区・拠点」の「図の見やすさとして、ランドマークを追加した方が良いのでは」という御意見をいただいたので、駅や学校などのランドマークを追加し写真も追加した。その際、「重点地区の写真を一覧にしたらどうか」という御意見もあったが、今回はあくまで、個別計画の概要説明としての位置づけとしてとらえていることから、一覧の写真は掲載せず数か所の拠点写真の掲載にとどめている。 なお、「資料として、ページＩＤ等を入れたら良いのではないか」という御意見をいただいたが、今後、市のＨＰが変更する可能性を考慮し、今回はページＩＤやＱＲコード等については掲載しないこととした。 説明は以上になる。 今回の素案は、これまで審議会での皆様からの御意見等を頂戴し、それを反映させて最終案として取りまとめることができ、心から感謝申し上げます。 なお、前回の審議会において、レイアウトに関する御意見が多くあつ
-----	--

事務局	たが、レイアウトや写真については、今後、庁内での調整等に変更する可能性があることを、御承知おき願いたい。 以上を踏まえ、最終的なご確認をいただきたい。
新保会長	事務局からの説明に対し、質問等はあるか。
朽津委員	「脱炭素」という言葉は、非常に誤解を生みやすいので「脱炭素」という言葉を使うべきではないという声明を日本化学会が正式に出している。 「脱炭素」は、「炭素がなくなる」ことを目指すという、明らかな科学的な誤りであるので、「炭素循環」という言葉に置き換えるべきであるという声明を、日本化学会が公式に発表している。 「脱炭素なまち」や「脱炭素」という言葉は一般の方に誤解を受けやすいので、教科書も脱炭素という言葉がなくそうという方向で世の中が動いている最中であり、色々なところに「脱炭素」という言葉が使われているものを直せないかということが私の意見である。
事務局	ただ今の朽津委員の言うことも確かなものかと思うが、現時点で流山市は「脱炭素都市ながれやま」というように、「脱炭素」という言葉を使っている。また、政府として「脱炭素」という言葉を改めるという公式発表もないので、朽津委員が示される意見も1つの考え方としてあると思うが、現時点では「脱炭素」という言葉で進めたいと考える。
朽津委員	「脱炭素」という言葉を使用することに関しては強く反対する。日本化学会は、「脱炭素」は炭素のない物質社会を目指すという間違えた印象や目標を人々に与えてしまうことが強く懸念されるので、この言葉を教科書や公の場からなくして、「炭素循環」という言葉に改めるべきであるというかなり強い声明が出されているので、市全体で「脱炭素」という言葉を公の場で使わない方向で御検討いただけないかというのが一委員としての私の強い意見である。
新保会長	言葉の取り扱いについては、国の見解を確認する必要があるため、事務局にて環境省に確認して対応するようにしてもらいたい。
事務局	了承した。

三堀委員	この基本計画は小冊子にまとめるということなのでレイアウトのことを述べる。 1 ページの下の5行目のところで「また」とあるが、ここは他より1字下がりだと思う。 次に、2 ページの4行目などの、二重カッコだが、この書き方だと見栄えが良くないので、カギ二重カッコにした方が良いのではないか。4 ページの3のところで、※が1字出ているが、これも1字下げではないか。5 ページも二重カッコがあるのでこれも直していただければと思う。 次に、7 ページの写真の説明のところだが、写真と説明のところの間隔について4 ミリ空いている。普通1.5か2ミリくらいがバランス良い。8 ページのところは、①と文章の間が空いている。これは詰めた方が良いのではないか。 9 ページも①と文章の間が全角空いているので詰めた方が良い。13 ページの目標の進捗のところも二重カッコになっているのでこれも直すと良い。 14 ページも施策の方向で全角空いているから全部つめたほうが良い。11 ページ、13 ページ、15 ページ、17 ページ、19 ページ、20 ページの写真についてもネームと写真を詰めた方が良い。 21 ページの文章は、4行目を一字下げすること。24 ページの◇と文章の間が空いているから詰めた方が良いと思う。また、同じページの「3つの社会」のところの二重カッコも直した方が良い。 29 ページの二重カッコも詰めた方が良い、また(1)は半角落ちているが頭揃えた方が良い。①②は詰めた方が良い。20 ページの③も同様である。31 ページの①概要、②③、あと計画期間の二重カッコも同様である。32 ページの3と、33 ページの(2)も詰める。表も右に出っ張っているから上の表と揃えること。以上、体裁を整えると良いと思う。
新保会長	今、御意見が出たが、私が見ている限り環境政策課にはその分野の専門の技術力はなく、専門のコンサルに頼んでいるわけではないので、環境政策課で対応できる部分をよく考え検討されたら良いと思う。
和田委員	3 ページ目のページ数が少し下がっているように見える。
新保会長	御意見はよくわかるが環境政策課には編集ソフトがない。それに編集をやったことのない人間がやっているの、配慮してもらえればと思う。環境政策課には技術的に可能な範囲で修正してほしい。

和田委員	色々と技術的に難しい点もあることは理解するが、前回よりも今回の表の方が、数字が小さくなっている。数字はできるだけ大きく濃く見やすくしてほしい。全部の表のレイアウトが見やすくなり、とてもわかりやすくなったのはありがたいが、数字の色だけが薄くて小さくなったような気がする。数字は、なるべく大きくしてほしい。また、10、11ページで青や緑の項目で黒い字で書いているが、白抜き文字にすれば見やすくなる気がする。あるいは項目の青や緑の色を薄くしてほしい。半分以上が白く抜けているような25ページ上半分が表になっていて、下半分が白く抜けているならもう少し何か足せるような内容が何かないかを検討しても良いと思う。 33ページの、グラフだけ右にずれているところがあったので見にくいと思った。グラフが縦軸横軸の数字も小さくてすごく見にくいのももう少し大きめの太目の文字にしてほしい。両側に数字があるとどこをどう見たらよいかわからなくて困る。それについて示していただけたらと思う。30ページのグラフの線だけ細いのではないか。 27ページの空白も気になる。21ページの縦側の数字も、折れ線グラフや棒グラフの数字はこちらとか、もう少しわかるようにしても良いのではと思う。19ページ、17ページ、15ページ、13ページ、10ページの表も字だけ薄い。 4ページの流山市独自の環境マネジメントシステムのところで、令和元年度からは市独自の取り組みとなったという点や、経緯や利点なども書き加えられたらと思う。
事務局	まず表の数字は、表の幅を狭めた関係で数字を小さくしている。数字を大きくすると表の幅を大きくしないといけなくなる。どちらを取るかということになりかねない。フォントを太字にするなど調整を行ってみるが、大きさは変えられないと思っている。 環境マネジメントシステムについては、前回御意見をいただいたときに「環境マネジメントシステムの説明がないのでわかりにくい」との話だったので端的に表した説明ということでこの形にした。市独自の取り組みとした経緯を入れた方がよりわかりやすくなるとのことであれば、そうするが、環境基本計画が環境マネジメントシステムによる施策の管理等が行われているという点を示すのに現行でも足りるようであれば、このままとさせていただければと思う。
和田委員	環境マネジメントシステムは国のものから市独自のものにした経緯があるわけで、チェックの段階を流山市独自でやるとなったと思うが、それはどういう状況でそうなったかわかればと思う。
事務局	経緯があった方が良いと思うが、環境マネジメントシステムそのものが何なのかということや、システムに関するノウハウが蓄積されたためとここに記載してあるので、それで包括できないかと考える。

和田委員	国に提出すると時間はかかるし、アクションを起こしにくいということが、市独自のものとした経緯なのか。
事務局	そもそもやっていた国のシステムがエコアクション21であり、おっしゃる通り、外部の方との調整や、庁内での調整にも時間がとられたり、職員の負担感も大きかったと聞いている。さらに、効率的に進めるという意味で流山市独自の環境マネジメントシステムに切り替えたと聞いている。それだけではないが、それが大きな理由であると考えている。
今井委員	基本目標と基本計画の、生物多様性ながれやま戦略などとの関係がわかりにくい。実行計画が上位にあり、基本目標が目先のこととして実行するととらえたが、ここを再度説明していただきたい。
事務局	基本計画と他の計画との関係性を申し上げると、環境基本計画が環境面での最上位の計画となる。その下に、生物多様性ながれやま戦略や地球温暖化対策実行計画がある。基本目標を目指すにあたり、実行計画があるというイメージになる。
今井委員	基本目標を実行するための計画が先ほどの生物多様性ながれやま戦略や地球温暖化対策実行計画になるということか。
事務局	例えば、9ページの基本目標1の「多様な生物と豊かな自然を育むまち」という目標があり、その目標を達成するために施策の方向として、「生物多様性ながれやま戦略」の推進というのがある。この基本目標を達成するためにこの戦略をやっているという形になる。
今井委員	目標ごとに市の取り組みや市の事業を書いているので、関係がわかりにくいと感じた。また、19ページの目標指標の進捗で、※2で「将来目標値がないため、目標の方向性で示しました。」とあるが、将来目標の欄で矢印が抜けているのでは。
事務局	おっしゃる通り、矢印で示すところだが抜けていた。入れるようにする。
朽津委員	先ほど申し上げたことは環境省の方に確認することなので、Zoomのチャットに資料を送付した。これは9月16日のヤフーニュースや朝日新聞でかなり大きく取り上げられていて、一個人の学者としての意見ではなく学会全体としてこの要望を改めようと社会の動きが起きている。9月16日に挙げられたばかりなので、間に合わないかもしれないが、どういう風に流山市が対応するか教えていただければと思う。「脱炭素」という言葉を社会全体として誤解がないように改めようという大きな運動が起きていることをお伝えしたかった。
和田委員	1ページ(1)の、上から4行目の「すでに」という言葉が同じ一文の中に2つあるのがよくわからない。重なりがあるところもチェックしたらいかがか。

事務局	段落を詰めることはできると思う。御指摘のあった「すでに」が2回使用されていることや、誤字脱字も含めてチェックしたい。二重カッコのことについても市役所の文章の決まりがあるので、その中で二重カッコにできるのかを文書の担当の部署と相談しながら進めさせていただければと思う。
新保会長	環境省に確認するときは、担当の課長か専門官に聞くのが良いかと思う。庁内でも最終的に中身を確認し、進めるということなので、また少し体裁等も含めて変更する可能性があるという理解でよいか。
事務局	この答申の後、庁内の会議を2回ほど経たうえて、パブリックコメントにかけ、パブリックコメントの結果によっても内容が変わる可能性がある。パブリックコメントの結果、こう直したということも、2度の庁内での意思決定を経て、議会へも報告の上、3月に策定となる。
井上委員	内容も良くなっており、校正の専門の方がいないところでいろいろ言われるのも大変かと思う。校正の専門家、企画課のような、本来の法律と比べて齟齬がないかを調べるところがあるかと思うが、市役所はない。そのため100点満点にはならないと思う。整合性をチェックする部署があればそこをお願いするなり、そのようなところにお金をかけるよりは、多少ずれていても良いと思う。もし可能であれば、コストをかけないで直されたらよいかと思う。
新保会長	あと30分くらいなので、事務局の方から今日欠席の副会長のコメントを紹介してほしい。
事務局	本日欠席している副会長の金森委員から、同じタイミングで資料を共有させていただいている。いただいた意見が3点ある。いただいた意見について紙で配布しているが、口頭で説明する。 1点目、21ページ目にある真ん中の図について、字の大きさについては和田委員からも指摘があったが、グラフの中のそれぞれの折れ線グラフと棒グラフの注釈の数字について、どちらが対応しているかがわかりづらいのではとご意見があった。 2点目、33ページ目の真ん中の図の、ごみ発生量と原単位の図について、右により寄りすぎているとご指摘をいただいている。 同じく33ページの下のところ、数値の関係があるが、ごみの発生量について小数点以下に2桁まで入れているところを四捨五入したらいかがとご指摘があった。こちらについては環境白書との整合性があるので、このままの表記をさせていただければと思う。最初いただいた2点については、対応させていただければと思う。報告は以上となる。

和田委員	今の縦軸の件だが、対応する色と同じ色でメモリを打った方がわかりやすいかと思った。青の数字が見にくくならないように工夫していただければと思う。
三堀委員	21ページの図について、左側が数字の上に、(t)、右側が(g)という風に入れるだけで理解できる。あと、左右の数字を大きくした方がわかりやすい。
事務局	枠のところと数字の大きさのところ、問題なければ修正等行えればと思う。
新保会長	グラフの作り方はインターネットにもあるので確認していただきたい。これは広く広報するときはPDFでホームページにカラーで載せるのか。
事務局	ホームページで掲載する。紙ベースも市内の公共施設にパブリックコメントの時には置く予定である。
新保会長	御意見としては出尽くしたという理解でよろしいか。それであれば今日の協議はこれにて終了して事務局にお返しする。
事務局	本日も貴重なご意見を賜り感謝する。本日いただいた御意見について、対応できるものは対応して、時間の都合上対応できないものについては、今後も計画を作成することがあるので、その時に反映できるようにさせていただければと思う。 今後のスケジュールについて簡単に申し上げる。来月10月中にパブリックコメントについての意思決定を市としてのお示しをさせていただいて、11月下旬にパブリックコメントを実施させていただく。その後、パブリックコメントの結果を庁内で共有し、その後、1月、2月に議会の方に報告させていただいて、3月に正式に策定を予定している。その関係もあり、本日いただいた御意見については、10月初旬を目途にまとめさせていただき、御案内できればと考えている。また、諮問に対する答申も必要になってくるため、答申案も併せてお送りできればと考えている。この答申案も新保会長と調整させていただき、答申を市長にさせていただければと考えている。 パブリックコメントの結果を受けて素案の内容が変わる可能性もある。大きく変わることがあれば、また改めて審議会の方にお知らせしたい。 次回の審議会の時期について、ここまで3か月ほど連続してお集まりいただき感謝申し上げます。次回は年明けの1月もしくは2月頃を予定している。詳細が決定したら別途事務局から連絡する。次回は環境基本計画の方が特になければ、議題は生物多様性ながれやま戦略の改定についてとなり、前回の審議から時間が空いているので、これまでの審議内容を振り返って精査する機会となればと思う。事務局からは以上である。以上をもって、第3回流山市環境審議会を終了する。

